



国を選択 ▼ ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

[たばこ規制](#)  
[世界的なたばこ規制](#)  
[取引規制](#)  
[紙巻たばこのマーケティング](#)  
[児童労働の問題](#)  
[地球環境問題](#)  
[リスクを低減する製品](#)

## 私たちのビジネス環境

### 効果的な法律を支持

どのような業界にあっても、規制は重要なものです。しかし、たばこ会社にとって、それは特に重要なものです。規制はビジネスに安定性と見通しをもたらします。また、公平なビジネス環境を整えてくれます。このため私たちは、たばこ製品とたばこ業界双方に対する強力で効果的な規制を支持しており、政府や公衆衛生当局と共にその目標に向かって取り組んでいきたいと考えています。

また、公衆衛生という観点から、私たちは喫煙が健康に及ぼす影響について率直に話すことに努めるとともに、たばこ製品に対して社会が懸念している問題に取り組んでいます。

未成年者の喫煙に関しては、私たちは最低年齢に関する法律を支持し、子どもたちのたばこ購入防止や専門家による教育プログラムなど、未成年者の喫煙を防止するプログラムを世界中で支援しています。

当社はまた、ビジネスを行うあらゆる所で高い安全基準を維持しています。そして、自社の工場および提携先の工場において、改善箇所を見極め、それを共有できるようにその製造工程を監視・評価しています。

**「強力かつ効果的なたばこ規制の策定に向けて、当社は政府および公衆衛生当局と共に取り組んでいます」**

デイビッド デイビス コーポレート・アフェアーズ担当上級副社長



地球環境の保護については、すでに世界中で廃棄物やリサイクル、資源保護における適切な措置を講じています。これについて、私たちは10年以上にわたり、親会社の環境原則を指針としてきました。また、私たちの葉たばこ供給業者も同じ目標に向かって取り組めるよう、私たちは「Good Agricultural Practices (GAP: 優良な農業の手法)」のガイドラインを設けて

います。

他の業界と同様に、あるいはそれ以上に、たばこ業界には規制が必要です。私たちは世界中の公衆衛生機関および政府と共に、たばこ業界における安定した規制環境の構築に取り組んでいます。

[友人にメールを送る](#)



## より詳しい情報

### 内部リンク

[成功の尺度  
更なる情報](#)

[喫煙が健康に及ぼす影響  
更なる情報](#)





[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)
[私たちのビジネス](#)
[喫煙と健康](#)
[私たちのビジネス環境](#)
[未成年者の喫煙防止](#)
[社会貢献活動](#)
[プレスセンター](#)

## たばこ規制

## より詳しい情報

### 内部リンク

[環境中たばこ煙  
更なる情報](#)

#### ▼ たばこ規制

[公共の場所における喫煙規制](#)
[世界的なたばこ規制](#)
[取引規制](#)
[紙巻たばこのマーケティング](#)
[児童労働の問題](#)
[地球環境問題](#)
[リスクを低減する製品](#)

### 私たちが厳しい法律を支持する理由

私たちは、強力で効果的なたばこ規制を支持しています。紙巻たばこは、がんやその他の重大な疾病の原因となります。このため、たばこ製品の販売および使用に対して多くの懸念が生じています。規制はこうした懸念に対処し、すべての人々にとって有益な長期的解決策を提供してくれます。



私たちは、たばこ業界における規則・規制についての合意に向けて、政府、公衆衛生当局および他のたばこ会社と共に協力していきたいと考えています。公衆衛生上の懸念に応えるためにできる限りのことをしたいと思ひますし、また同時に、私たちにとって安定した事業環境を築いていきたいと考えています。

### 危険であるにもかかわらず普及している製品に対し、規制環境を整えていくことは困難なことかもしれません。


責任をもって成人喫煙者にたばこ製品を販売すること、喫煙が健康に及ぼす影響について公衆衛生当局のメッセージを伝えること、そして未成年者の喫煙を防止する対策を実施することを、すべてのたばこ会社が求められるような規制が必要だと私たちは考えます。強力で効果的なたばこ規制は、こうした目標を達成するために役立ちます。

また、そのような規制は、公共の場所での喫煙問題についても対処することができます。私たちは、屋内の公共の場所における喫煙は政府によって規制されるべきであると考えていますし、公共の交通機関や子どもたちのいる学校のような場所では全面的に喫煙を禁止することを支持しています。また、子どもたちの周りで喫煙をしないよう、大人たちに強く呼びかけています。

一方、規制の下、ホテル、レストラン、ナイトクラブ、バーといった場所では、喫煙者に快適な喫煙場所を提供することが許されるべきであると考えます。喫煙が許可される場所では、喫煙者および非喫煙者双方の要望に見合った一番適切な決まりを定める裁量を、ある程度事業主は認められるべきです。そして、環境中たばこ煙が健康に及ぼす影響について顧客に伝えることを事業主に義務づける規制を、私たちは支持します。

危険であるにもかかわらず普及している製品に対し、規制環境を整えていくことは困難なことかもしれません。効果的な規制の策定に達する最善の方法は、政府、規制当局、公衆衛生当局、そしてたば

こ会社が共同で取り組むことであると私たちは信じています。規制は、私たち皆のためになるのです。

 [友人にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)
[私たちのビジネス](#)
[喫煙と健康](#)
[私たちのビジネス環境](#)
[未成年者の喫煙防止](#)
[社会貢献活動](#)
[プレスセンター](#)

## 公共の場所における喫煙規制

## より詳しい情報

### 内部リンク

[環境中たばこ煙  
更なる情報](#)

#### ▼ たばこ規制

##### 公共の場所における喫煙規制

[世界的なたばこ規制](#)
[取引規制](#)
[紙巻たばこのマーケティング](#)
[児童労働の問題](#)
[地球環境問題](#)
[リスクを低減する製品](#)

公共の場所での喫煙に関する規制、制限、および社会の姿勢は、世界中で大きく異なります。喫煙がほとんど規制されていない国や地域もあれば、成人が喫煙できる場所を厳しく制限している地域もあります。

私たちは、政府が屋内の公共の場所における喫煙を規制すべきであるという考えに同意します。屋内における喫煙規制を設ける際には、さまざまな要素を考慮に入れる必要があります。例えば、①公衆衛生当局は、環境中たばこ煙への曝露が疾病の原因となると結論づけていること(環境中たばこ煙についての詳細は、右のリンクをご参照ください。) ②人々が、喫煙の許されている場所に行くかどうか選べるべきであるという原則 ③施設の種類(オフィス、レストラン、バー、公共の交通機関など) ④各施設、特にサービス業においては、喫煙についての決まりを定めるにあたり、事業主にある程度の裁量を認めること ⑤ほとんどすべての国々において相当数の成人が喫煙者であるという事実。

このような要素を考慮に入れることは、社会がさまざまな問題に対処する際、よく行われていることです。同様の分析をここでも当てはめるべきでしょう。つまり、いくつかの例外を除けば、屋内の公共の場所における喫煙は、まったく無制限とするべきものでも、また、全面禁止とするべきものでもないということです。私たちは、公衆衛生当局および政府と協力して、公共の場所における環境中たばこ煙を規制する国レベルの基準を築いていきたいと考えています。

環境中たばこ煙の影響を最小限にするための規制は、多くの公共の場所において適切であると考えます。公共の建物、職場における多くの場所、また公共の交通機関のように、多くの人々が利用しなければならない場所では、環境中たばこ煙を避けることができるようにすべきです。また同時に、その規制では、各事業者が成人喫煙者に対して快適な喫煙場所を提供することが認められるべきであると考えています。喫煙が許される場所では、事業主は、分煙や喫煙室を設置して十分な換気を行うなど、非喫煙者と喫煙者の要望に見合う最善の方法を決める、ある程度の裁量が認められるべきです。一方、子どもたちがいる学校や託児所など、喫煙を禁止することが適切な場合もあると考えます。

そして、喫煙が許される場所では、環境中たばこ煙は非喫煙者に疾病をもたらすという公衆衛生当局の結論を伝える警告を表示するように政府が義務づけるべきであると考えます。その上で、人々は喫煙が許可されている場所に入出入りするかどうかを選択すべきです。

私たちは、主に子どもたち向けとする場所などの特別な場合を除き、屋外での喫煙は許可されるべきであると考えています。

[✉ 友人にメールを送る](#)
[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

2 /







国を選択

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)
[私たちのビジネス](#)
[喫煙と健康](#)
[私たちのビジネス環境](#)
[未成年者の喫煙防止](#)
[社会貢献活動](#)
[プレスセンター](#)

## 世界的なたばこ規制

## より詳しい情報

[たばこ規制](#)

### ▶ 世界的なたばこ規制

[取引規制](#)
[紙巻たばこのマーケティング](#)
[児童労働の問題](#)
[地球環境問題](#)
[リスクを低減する製品](#)

### 世界保健機関のたばこ規制枠組み条約

2003年5月、世界保健機関(WHO)の加盟国192カ国がたばこ規制枠組み条約(FCTC)を採択し、2005年2月に発効されました。

とりわけ、この条約は各国の政府に以下のことを呼びかけています。

- 喫煙の危険性について人々により多くの情報を提供すること
- 未成年者の喫煙を防ぐための法案を制定・施行すること
- 偽造紙巻たばこおよび密輸紙巻たばこの拡大を阻止すること

FCTCは、たばこ規制の世界的な基準を定めるという意味において、大きな前進を示すものです。これにより、財政政策や消費者情報、許認可制度、その他施策が相互を補完する規制の枠組み、つまり包括的なたばこ規制を導入する政府が増えることを私たちは期待しています。

FCTCは、たばこ規制を見直し、喫煙が引き起こす害を低減する方策を考え、それらを合わせた効果的な規制を策定する機会を提供するものです。

許認可制度(FCTC第15条第7項)および製品規制(第9条)は効果的なたばこ規制の基礎となると考え、私たちは政府に以下のように働きかけています。

- 製造会社、輸出入業者、販売業者を含む、たばこ事業に関係するすべての者に対して許認可制度を導入する
- 子どもにたばこを販売するなど、違法行為があった場合は認可を取り消す
- 製品基準と課税において、従来型のたばこ製品をすべて同等に扱う

FCTC、包括的な規制、世界的なたばこ規制の詳細については、右のリンクをご覧ください。

✉ [友人にメールを送る](#)

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[たばこ規制枠組み条約\(FCTC\)最終案\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[たばこ規制枠組み条約\(FCTC\)署名国\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

## 取引規制

## より詳しい情報

- たばこ規制
- 世界的なたばこ規制
- ▼ **取引規制**
  - 密輸問題
  - 偽造問題
  - インターネット販売
- 紙巻たばこのマーケティング
- 児童労働の問題
- 地球環境問題
- リスクを低減する製品

たばこ規制枠組み条約15条1項は、「密輸、密造、偽造を含む、たばこ製品のあらゆる形態の不法な取引の排除、ならびに小地域的、地域的および世界的な協定に加え関連する国内法を制定し、実施することは、たばこ規制に不可欠な要素である」と定めています。



私たちは、この条項に同意し、密輸品および偽造品の拡大を阻止するための規制上の追加措置を歓迎します。紙巻たばこの密輸は、私たちの各国工場や事業全般に損害を与えるだけでなく、流通網における当社のビジネスパートナーにも損害を与えます。

密輸および偽造たばこ問題への取り組みとして、すでに私たちは独自で活動を行っています。しかし、強力かつ効果的な規制はその成功に欠かせないものであり、多くの分野で、政府がさらに行えること、また行うべきことがあると考えています。

たばこの密輸および偽造問題に対する私たちの活動、また関係諸機関によって行われる必要があると考える事柄についての詳細は、このセクションの密輸・偽造に関するページをご覧ください。

[友人にメールを送る](#)

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[たばこ規制枠組み条約 \(FCTC\) 最終案 \(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[世界銀行: たばこ規制について \(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)





[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)
[私たちのビジネス](#)
[喫煙と健康](#)
[私たちのビジネス環境](#)
[未成年者の喫煙防止](#)
[社会貢献活動](#)
[プレスセンター](#)

## 密輸問題

## より詳しい情報

### 内部リンク

紙巻たばこの密輸に立ち向かう(英語 PDF, 307Kb)  
[更なる情報](#)

たばこ製品のインターネット販売に関する私たちの見解  
[更なる情報](#)

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

欧州委員会税制・関税同盟総局: 偽造と海賊行為(英語)  
[更なる情報](#)

[たばこ規制](#)
[世界的なたばこ規制](#)

#### ▼ 取引規制

[密輸問題](#)
[偽造問題](#)
[インターネット販売](#)
[紙巻たばこのマーケティング](#)
[児童労働の問題](#)
[地球環境問題](#)
[リスクを低減する製品](#)

### 紙巻たばこの密輸

密輸品とは、その国の適用税を支払わずに持ち込まれた物品を意味します。密輸品は、本物の紙巻たばこ製品の場合と偽造紙巻たばこ製品である場合がありますが、フィリップ モリス インターナショナルの製品に関しては偽造品の方が多く見受けられます。私たちは、あらゆる形態の密輸品に反対であり、この問題に立ち向かっています。

密輸品により、たばこ専門店をはじめ、たばこを販売する小売店の売り上げが減少することになります。また、たばこメーカーは国内での市場シェアを失うことになります。小売業者とたばこメーカー両方の事業に打撃を与えるだけでなく、たばこメーカーや関係企業が質の高い流通システムを構築するために行ってきた投資を無駄にすることにもなります。消費者は偽造たばこを購入することになり、当社をはじめさまざまな会社が収益を失うことになります。

たばこの密輸は、今日のたばこ業界が直面する最も重要な課題の一つです。密輸問題に対処するため、私たちは次のような活動を行っています。

- 当社のたばこ製品が販売されている市場において、当社製品に対する消費者の需要を監視し、その需要にあわせて販売量を制限する
- 取引先を広範にわたり審査・監視する
- 取引先と協働して、密輸対策を推進する
- ケース・コーディングなどさまざまな追跡・検索技術を用いて、当社製品が然るべき場所でのみ販売されることをより確実にする
- 当社製品の輸送、配送、および小売店での販売の抜き打ち検査を継続的に行う

本物および偽造たばこ両方の違法取引根絶のため、私たちは責任を持って手段を講じていきます。しかしながら、私たち単独ではそれを達成することはできません。法律を有効に施行することは、あらゆる密輸対策が効果をあげるうえで重要な役割を果たします。密輸と戦う意思を共有する政府およびさまざまな組織・機関とともに、私たちはこの問題に取り組み続けます。

詳しくは、右の「紙巻たばこの密輸に立ち向かう」をご覧ください。

✉ [友人にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択  ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

## 偽造問題

## より詳しい情報

### 内部リンク

[偽造紙巻たばこ: 世界的な問題とその解決案 \(英語 PDF, 143KB\)](#)  
[更なる情報](#)

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[欧州委員会: 偽造に関する青書 \(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[OECD: 偽造が経済に与える影響 \(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[欧州委員会税制・関税同盟総局: 偽造および海賊行為 \(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[たばこ規制](#)

[世界的なたばこ規制](#)

▼ [取引規制](#)

[密輸問題](#)

[偽造問題](#)

[インターネット販売](#)

[紙巻たばこのマーケティング](#)

[児童労働の問題](#)

[地球環境問題](#)

[リスクを低減する製品](#)

### 偽造紙巻たばこの取引

2002年に各国政府が押収したフィリップ モリス インターナショナルのブランドの密輸紙巻たばこのうち、90%近くが模造品でした。つまり偽物ということです。

偽造紙巻たばこの取引は、急速に拡大している世界的な問題です。それは私たちのようなたばこメーカーに毎年何億ユーロもの損害を与えています。

そして、騙されて偽造紙巻たばこを購入してしまった喫煙者は、期待していた製品を手に入れることができないのです。例えば、最近のBBCのドキュメンタリー番組によると、偽造紙巻たばこは英国で販売されている本物のたばこに比べ、「タールが75%、ニコチンが28%、一酸化炭素が63%多く含まれている」と報告されています。しかもその多くには「砂や、プラスチックの破片などのパッケージの素材が混入していた」ということです。

欧州委員会によると、偽造品の製造には国際的な犯罪組織が関与しており、「多くの場合、子どもを主とする労働者が狭苦しい場所に閉じこめられ、安全や人権など一切考慮されずに酷使」されています。

また欧州委員会では、各種偽造品のため欧州で年間10万件の職が失われていると見積もっています。

この問題を解決するには何をすべきでしょうか。

紙巻たばこの偽造は深刻な犯罪行為であるということを、各国政府が認識する必要があると私たちは考えています。偽造紙巻たばこの流通を阻止するためには、税関当局の権限が強化されるべきであり、また、偽造品その物だけでなく、それを製造する機械も没収・廃棄されるべきだと考えます。

そして、たばこ業界における規制も増やされるべきであると考えます。その規制では次の点が重要となります。

- 製造業者、輸出入業者、倉庫会社、配送会社、小売店およびその他のたばこビジネスに関わるすべての業者を含む、流通のあらゆる層に適応されること
- 一貫性があること。また世界中の国々で一貫して施行されること
- たばこビジネスに関わるすべての業者をライセンス制にし、モニタリングを義務付けること
- インターネットや通信販売の小売業者も対象に含めること

業界に携わるすべての関係者が偽造問題の深刻さを認識したとき、初めて私たちは偽造業者を業界から追放することができるのです。

偽造品とインターネットによる紙巻たばこの販売について詳しくは、右のリンクをご覧ください。